

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789

マイヤリ駐日大使発言(昭四四・十二・八)

大政專外外機官
 務務典房
 次次官官審審長長
 臣官官審審長長
 備備文会管管給
 總入電厚計
 國務長領移長
 參領旅移
 ア 參地中東
 長 北西
 米長 參北北保
 中南
 歐 參西東洋
 長 西東
 ア 參書近ア
 藍 次総総國万
 長 參置統皇
 長 參政政二
 長 參一理
 長 參案議議
 長 參政政科
 長 參行傳
 長 參道内外
 長 文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 55716 主管
 69年 月 9日 19時50分 シカゴ 発着 米北
 69年 12月 10日 13時09分 本省 着

外務大臣殿 影中 大使 臨時代理大使 総領事 代理

マイヤー駐日米大使との雑談(報告)

第238号 略

8日午後当地来訪中のマイヤー大使と当地INTERNATIONAL TRADE CLUB前会長THOMAS MINERとの3人で約1時間半雑談する機会を得たが、同大使の発言中きょう味あるもの次のとおり。

なお、同大使は、帰路、ロスアンゼルス、サンフランシスコ、ホノルルに2、3日ずつ滞在して1月中旬に東京に帰任したいと考えていると述べたが、詳細な日程の言明は避けたいふうであつた。

1. オキナワ問題の交渉

サトウ総理、アイチ大臣以下、日本側が米国側の事情をよく理解した上で交渉してくれたことが成功のきざしであつたと感じている。≡クソン大統領はしゆう知のとおり、大変な日本通であり、また國務長官以下いずれも日本側の立場を同様によく理解していたことも、日本側で認めて頂きたい。

2. ヤラ主席

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

信任状授けを済ませたよくよく日ナハに赴いてヤラ主席にお目にかかつた。ちようど原潜入港反対の気運が高まっていたおりであつたが、自分から、日本でも原子力船を建造しているのではないか。また、原潜は米国の諸港に絶えず出入しているが危険なものを動かすはずはあり得ない。これを本能的に危険視することは時代遅れではないかと説得して、その直後に二隻が問題なくナハに入港したことがある。同主席の立場上、心ならずも反対をさげほざるを得ない場合が多くあることは、よく分る。しかし、本質は、問題点の理解力が深く、また、誠実な人からの人物であると考へている。

3. オキナワ交渉の日本国内の反響
 (当方から、毎日新聞の世論調査で、これを評価する者の率77%なる旨を伝えたところ) 当然評価されると信じていたが、数字的にうら付けされたことはうれしい。反対派攻撃派も非難の的を見出し得ないで困わくしているのではないか。来年の安保問題も廃止論者の率がぜん次で減しているが、日本の健全な常識を示すものとしてうれしい。SILENT MAJORITYの頼もしいことは、日米はずれも共通と思う。

4. ダイエトナム戦争とPINKVILLE事件

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

残ぎやく事件があつたとすれば、許されないことはもち論だが、他方、米国の新聞の書き方は、自国の将兵に対する同情が余りにも足りない。反戦の学生デモのことはかり書き立てているが、これらの学生は安易な生活をきょうらくしている観念論者だ。日本国内の米軍病院に見まいに行く度に感ずることは、重しよう者であつても国のために戦おうとする士気のおとろえを少しも見せない頼もしさである。米軍将兵に接する時にこそ米軍未だ健在なりという感を深くする。(聞いていて、相当の激しさをさへ感じた。)

5. アグニュー副大統領のプレス攻撃(往電第228号御参照)

ゆう気がなくて、とてもあれだけ言えるものではない。自分は全く同感である。トルーマン大統領以来絶えてなかつたかい拳だと思ふ。新聞は、大体反政府的なものであることは、よく承知している。アグニュー演説に対して、早速反ばくしている連中もいるが、他方、きよ心担かいにへん向を認めている新聞人もいるではないか。

6. 在日米人記者団

日本に着任した当初、自分を無名校出身のいなか者扱いし

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

たことはまだしも、例えばNHKを誤まつてMHKと言つたなどと、ないことまでねつ造して書き立てられたのには閉口した。記者のやり方など、ひどいものである。一般に最近は随分よくなつたようだが、やはり、自分の言つたことをひねつて(TWIST)書くことは、新聞記者の通へきなのであろう。

は、よく出入りするが、彼は最もまともな記者の一人である。

7. 日本人記者団

取材記者諸くんの年齢が米国記者に比べて非常に若いことが目立つ。自分は、取材記者、デスク、論説別に10人ないし15人ずつくらいのグループに随時バックグラウンド情報を提供している。不満は何もない。

8. 総選挙

27日に東京にいないのは残念だが、あるいはいない方が良いかとも思っている。(当方からこう補者の平均年齢若年化の傾向の報道をひろうしたところ)石原参議院議員の例を見てもうなずける。他方マツダ衆議院議長の如きかくしゃくたる年配者もあり、日本の活力にはおどろいている。

9. せん維問題

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

今回滞米中に、カロライナのせん維産業地帯も訪問する予定である。日本側では米國産業に損害なしと断定しておられるが、米國側の要求は、日本の輸出のび率を例えば5ないし10パーセント程度に抑え、毎年60とか70パーセントというはなはだしい高率を御えん願いただけまいかということである。貴館（当館）は、米國のせん維産業地帯を管轄されていないので幸いだ。

10. 日航シカゴ寄航問題

米國側の事情種々これあり、決して容易でないといしか言えない。（話をそらして）中近東で見ていたところ、新こゝ独立国は、独立すると直ちに製鉄所と自國航空会社とを持ちたがり、経済性など全く無視してかかるから困る。（当方から、まさか日本をそのなかにカウントしておられるとはなかろう、と念を押しておいた。）

米、ニューヨークに転電し、その他在米各館に転報した。

(7)